

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	2	必修
担当教員			
中村 雅典			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	SM (演習)	201 (中級科目)

授業のねらい (概要)	ゼミナール形式の授業により、コースにおける2年間の学びのまとめとなる調査・研究を行います。教員指導のもと少数の学生が集まって研究し、文献調査、アンケート調査、フィールド調査等を行いながら卒業研究としてまとめ発表を行います。またのコースの特長でもある専門領域の内容や社会における実務に対する基礎教養知識の向上を図るとともに、社会人基礎力を土台としたキャリア目標の明確化と進路支援 (進学・就職) の強化を図ります。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 授業の進め方、成績評価の方法 卒業論文ゼミとは何か、卒業論文作成について</p> <p>第2回 予習 (時間) : シラバスで授業内容を理解する。(120) 復習 (時間) : 今後のスケジュールの確認 (120) 課題発見をまとめる: リサーチ・クエスチョン 論点をまとめ、検討する。探索の方針を決める。</p> <p>第3回 予習 (時間) : 配布資料を参考に研究活動の作法について自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 授業の振り返り (120) 論文作成: 情報探索力 ・情報をまとめて論文を書くということ</p> <p>第4回 予習 (時間) : 配布資料を参考に論文を書くということについて自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 授業の振り返り (120) 論文作成: 情報整理力 ・情報を整理して論文の作成</p> <p>第5回 予習 (時間) : 配布資料を参考に論文の基本的構造についても自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 授業の振り返り (120) 論文作成: 論文構成力 ・論文構成から骨子の検討、執筆。</p> <p>第6回 予習 (時間) : 配布資料を参考に文献・資料を探す、参考文献の示し方について自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 授業の振り返り (120) 論文作成 ・脚注の付け方、・図や表の挿入、・参考文献リストの付け方 ・プロジェクターによる校正と指導</p> <p>第7回 予習 (時間) : 配布資料を参考に脚注の付け方、図や表の挿入について自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 授業の振り返り、各自指導された箇所の修正 (120) 論文作成 ・論文構成、テーマに沿って書く (序論、本論、結論) ・プロジェクターによる校正と指導</p> <p>第8回 予習 (時間) : 配布資料を参考に文献・資料を探す方法について自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 授業の振り返り、各自指導された箇所の修正 (120) 中間テスト</p> <p>第9回 予習 (時間) : スモールテストや配布資料を確認する。(120) 復習 (時間) : 中間テストでできなかった問題を復習する。(120) 論文作成 ・テーマに沿って書く (序論、本論、結論)、修正作業 ・プロジェクターによる校正と指導</p> <p>第10回 予習 (時間) : 配布資料を参考にアンケート調査・フィールド調査について自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 授業の振り返り、各自指導された箇所の修正 (120) 論文作成、論文発表準備 ・テーマに沿って書く (序論、本論、結論)、修正作業</p>

第11回	<p>予習（時間）：配布資料を参考にアンケート調査・フィールド調査について自己学習し、疑問点を抽出する。（120）  復習（時間）：授業の振り返り、各自指導された箇所の修正（120）  論文作成、論文発表準備  ・テーマに沿って書く（序論、本論、結論）、修正作業</p>
第12回	<p>予習（時間）：配布資料を参考にアンケート調査・フィールド調査について自己学習し、疑問点を抽出する。（120）  復習（時間）：授業の振り返り、各自指導された箇所の修正（120）  合同卒業論文発表会（予定）  論文テーマと概要の発表</p>
第13回	<p>予習（時間）：論文テーマと概要の発表について準備する。（120）  復習（時間）：授業の振り返り、各自指導された箇所の修正（120）  論文発表及び提出  論文テーマと概要の発表</p>
第14回	<p>予習（時間）：論文テーマと概要の発表について準備する。（120）  復習（時間）：授業の振り返り、各自指導された箇所の修正（120）  【論文発表及び提出  論文テーマと概要の発表</p>
第15回	<p>予習（時間）：論文テーマと概要の発表について準備する。（120）  復習（時間）：授業の振り返り、各自指導された箇所の修正（120）  論文発表まとめと最終期末試験対策など  まとめ  期末テストについて</p>
	<p>予習（時間）：これまで学んだことを確認し、疑問点を抽出する。（120）  復習（時間）：授業の振り返り（120）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>DP（短期大学部）の次の項目を意識した科目になっている。  1. 実践力を身に付け、組織において協働できる能力  3. 基礎的知識を身に付けており、学んだことを発信できる能力  [身につくスキル]思考力・発信力</p>
到達目標	<p>① インターネットや図書館を利用してテーマに沿った内容の文献調査を行うことができる  ② テーマに沿った調査を実施し、論理的に結果をまとめることができる。  ③ 調査・研究した内容について、メディア等を使いながら論理的に発表することができる。  ④ 研究倫理について理解し、実践・活用できるようになる。  ⑤ 積極的に発言でき、他の人の考えや意見を聞くことができる。  ⑥ コース専門領域の基礎教養知識を活用することができる。  ⑦ キャリア目標を明確にし、主体的な進路活動（進学・就職）に活用することができる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>小テスト等の全体的な注意点などを授業内で説明します。</p>
履修上の注意	<p>① 無断欠席、遅刻、授業中私語、飲食禁止。携帯電話は電源をOFFにし、カバンにしまうこと。  ② 欠席や遅刻をした場合は、スモールテストに参加できなくなり、評価ができなくなります。また遅れた分のフォローアップは各自の責任のもと行うこと。  ③ 欠席（公欠含む）6回で履修放棄とみなすので注意すること。  ④ 卒業課題の卒論を仕上げるというやる気と努力をしっかりと持って取り組むことが望ましい。  ⑤ 課題提出及び発表は締め切り厳守とし、卒論作成準備の重要性を認識して授業に参加することが必要。  ⑥ 卒業論文提出及び発表は締め切り厳守とし、卒論未提出の場合は、卒業不可となることもあるので注意すること。</p>
成績評価の方法・基準	<p>・卒業論文：50%  ・スモールテスト：10%  ・中間テスト：10%  ・卒業論文プレゼンテーション：15%  ・期末テスト：15%</p>
教科書	<p>前期の教科書を使います。</p>
参考書・教材	<p>【教材】必要に応じて適宜資料を配布する。</p>
備考	<p>演習科目</p>
教員との連絡方法	<p>受講生はA-portalのMELLYを必ず設定しておくこと。MELLY、メール及びオフィスアワー</p>